

平成26年度

事業報告書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

平成26年度事業報告

平成26年度は、京都コンサートホールと5つの文化会館につきましては、指定管理者として2期目の最終年度になり、事業の総仕上げの年度と位置づけ、次期指定管理の獲得を視野に入れた組織体制の強化と効率的な経営ならびに利用者サービスの向上等を目標に掲げ、運営に取り組んでまいりました。

そのような状況の中、平成26年9月には次期指定管理の申請書を京都市に提出し、新たに3期目（平成27年度～30年度）の指定管理者として選定を受け、施設の運営にあたることとなりました。

また、今後の財団運営に大きな影響を持つ、ロームシアター京都につきましては、財団がこれまで培ってきた管理運営のノウハウを活かし、平成28年1月のリニューアルオープンに向けて着実に準備を進めるとともに、オープニング・プレ事業を実施するなど、オープニングに向けた祝祭感を高めてまいりました。

さらに、京都市交響楽団については、日本を代表する3人の常任指揮者陣を迎え入れ、それぞれの特色を生かした演奏会を行うとともに、平成27年度に実施する海外公演や平成28年度に迎える京響創立60周年記念に向け、「世界に誇れる一流のオーケストラ」として、さらに国内外へ広く京都市交響楽団をアピールしてまいりました。

平成26年度から財団を取り巻く環境は、様々な節目を控え、質的・量的にも大きな変化を迎える中、「新中期経営計画2016」に掲げる目標の達成に着実に取り組んでまいりました。

『公益目的事業』

■ 京都コンサートホール

I 自主・共催事業〔全34事業45公演1講座〕※第1号議案別紙参照

1 京都市交響楽団のフランチャイズホールとしての取組



京都コンサートホールをフランチャイズとする京都市交響楽団の出演による優れた演奏会を開催しました。「音楽祭」の開幕を告げる「開会記念コンサート」では、市民招待を実施しました。加えて、アンサンブルホールムラタでの室内オーケストラの魅力を探る演奏会「室内オーケストラへの招待」を2公演、京響ヴィオラ・セクションとの演奏会を主催したほか、楽団メンバーによる

アンサンブルやリサイタル公演を制作し共催しました。

2 芸術水準の高い演奏会を中心とする鑑賞型事業

京都コンサートホール初登場となる「モントリオール交響楽団」や「ローマ・サンタ・チェチーリア国立管弦楽団」「バイエルン放送交響楽団」による人気・実力とも国際的な名声を誇る三つのオーケストラを世界の芸術都市から招聘し、「音楽祭」に登場しました。また、わが国の優れたオーケストラであるNHK交響楽団などの共催公演を行いました。

器楽の優れた演奏を聴く機会として、世界的ピアニストのピエール＝ロラン・エマールや辻井伸行氏や加古隆氏など我が国を代表するピアニスト3組が登場するコンサートなど、多くのリサイタルや室内楽演奏会を開催しました。

3 多彩な実演芸術の紹介



モーツァルトのオペラを狂言に翻案、狂言と本格的な室内楽との共演である「狂言風オペラ《ドン・ジョヴァンニ》」、サブカルチャーの代名詞であり京都にも

ゆかりのあるアンサンブル「ペンギン・カフェ」など世界的な文化芸術都市・京都にふさわしい、伝統芸能、民族音楽を盛り込み、地域らしさとオリジナリティーあふれた多彩な実演芸術の紹介に努めました。

また、京都国際舞台芸術祭実行委員会の構成団体の一員として、京都の劇団「地点」による「はだかの王様」を京響の演奏付きで開催しました。

4 日本有数のパイプオルガンの活用

若手オルガニストの登竜門として知られる「オムロン パイプオルガンコンサートシリーズ」と「パイプオルガンもの知り博士」や「クリスマスコンサート」など西日本最大級のパイプオルガンを活用した事業を引き続き実施しました。

5 未来の音楽芸術を担う若手音楽家や青少年の育成・支援

平成17年度に設立した「京都市ジュニアオーケストラ」を京都市交響楽団員の演奏指導のもとに運営し、「第10回京都市ジュニアオーケストラコンサート」で練習成果を発表、記念すべき10年目が成功裏に終わりました。京都市立芸術大学をはじめ関西の音楽大学8大学が集結する「第4回関西の音楽大学オーケストラ・フェスティバル IN 京都コンサートホール」でも音楽教育の成果を発表する“音楽の檜舞台”の役割を果たしており、次代の文化芸術の担い手や鑑賞者の育成を図るとともに、文化芸術を通してコミュニケーションを促進し、青少年の健全な育成に今後とも寄与して参ります。

6 未来の聴衆のために



しめる演奏会を提供しました。

豊かな文化生活を営む未来の音楽愛好家の増加を期し、幼児から入場可能なエンターテインメント性あふれる「子どものための“音楽のトビラ”ヤボルカイ兄弟」や、解説レクチャー付きの「パイプオルガンもの知り博士」、恒例の京都市少年合唱団とパイプオルガンが共演する「クリスマスコンサート」など、子どもだけではなく、親子でも音楽を立体的に楽しむ演奏会を提供しました。

7 地域の活性化と音楽の普及啓発に資する事業

平日昼間のワンコイン名曲コンサートとして人気シリーズである「おんがくア・ラ・カルト♪」と市民演奏家が熱演を繰り広げる「リレーコンサート」を本年も開催しました。周辺商店街や地元住民とともに地域フェスティバルを開催し、音楽がある文化的な生活をより多くの市民に提供するとともに、まちづくりを通じて地域の活性化に貢献しています。

(参考) 京都コンサートホールにおける事業・公演数の変遷

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業数	33事業	39事業	37事業	34事業
公演数	50公演	56公演	53公演	45公演
講座数	1講座	4講座	4講座	1講座

※平成26年度から事業・公演数が減少しているのは、シンフォニック・エヴォリューション、京都市ジュニアオーケストラコンサート、京都市小学生のための音楽鑑賞教室を京都市交響楽団共催事業に移行させたため。

8 音楽芸術の人材育成のための支援制度

将来の音楽芸術文化を担う人材の育成に資するため、音楽芸術活動を財政面で支援する「京都コンサートホール ホール利用助成金制度」を引き続き実施し、大学の交響楽団演奏会や若手音楽家による室内楽演奏会などを支援し11事業を支援しました。また、大学からのインターンシップを3校、中学校での「生き方探究チャレンジ体験」を3校受け入れ、小学校からの施設見学会なども積極的に受け入れました。

(参考) 平成26年度京都コンサートホール ホール利用助成金制度実施実績

事業名	事業日	主催者
京都女子中学高等学校オーケストラ部 第30回定期演奏会	4月3日(木) 大ホール	京都女子中学高等学校 オーケストラ部
京都大学交響楽団 第195回定期演奏会	6月19日(木) 大ホール	京都大学交響楽団
第3回京都両洋高等学校吹奏楽部 定期演奏会	7月22日(火) 大ホール	京都両洋高等学校吹奏楽部
第44回京都大学吹奏楽団 定期演奏会 リハーサル	12月3日(水) 大ホール	京都大学吹奏楽団
第44回京都大学吹奏楽団 定期演奏会	12月19日(金) 大ホール	京都大学吹奏楽団
京都橘高等学校吹奏楽部 第51回定期演奏会	12月25日(木) 大ホール	京都橘高等学校吹奏楽部
京都大学交響楽団 第196回定期演奏会	1月16日(金) 大ホール	京都大学交響楽団
京都堀川音楽高校61期生による Spring Concert	3月20日(金) アンサンブルホールムラタ	京都堀川音楽高等学校 61期生卒業生
京都市立修学院中学校吹奏楽部 定期演奏会	3月25日(火) 大ホール	京都市立修学院中学校 吹奏楽部
大谷中学高等学校吹奏楽部 第51回定期演奏会	3月27日(金) 大ホール	大谷中学高等学校吹奏楽部 吹奏楽部
京都府立北陵高等学校吹奏楽部 第21回定期演奏会	3月30日(月) 大ホール	京都府立北陵高等学校 吹奏楽部

II 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

京都コンサートホールにつきましては「京都におけるクラシック音楽の殿堂」としての役割を十分に果たすとともに、若い芸術家たちの憧れの舞台となることを目指し、市民の芸術文化の振興拠点となるよう、利用の促進に努めました。

目標 1 利用率目標達成度

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率(日数)の目標値 大ホール	58 %	65 %	69 %	70 %
利用率(日数)の実績値 大ホール	55 %	69 %	67 %	70 %
目 標 達 成 度 大ホール	94.8 %	105.6 %	97.1 %	100.0 %
利用率(日数)の目標値 アンサンブルホールムラタ	52 %	58 %	61 %	61 %
利用率(日数)の実績値 アンサンブルホールムラタ	57 %	60 %	57 %	57 %
目 標 達 成 度 アンサンブルホールムラタ	109.6 %	104.1 %	93.4 %	93.4 %

目標 2 入場者数

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
入場者数の目標値	244,495 名	260,000 名	320,000 名	320,000 名
入場者数の実績値	249,499 名	307,836 名	298,415 名	317,939 名
目 標 達 成 度	102.0 %	118.3 %	93.2 %	99.3 %

目標 3 利用料金収入

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
ホール料金収入	174,786 千円	207,786 千円	203,541 千円	218,014 千円
駐車場利用収入	21,840 千円	23,319 千円	23,105 千円	23,339 千円
計	196,635 千円	230,897 千円	226,646 千円	241,353 千円

(2) 施設・設備の維持管理

京都コンサートホールは開館から19年が経過しました。このため、経年による劣化が進んでいるため財団としてもより一層施設の修繕に力を入れ、安全面や利用客の快適性を視野に入れた改善に取り組んでまいりました。所有者である京都市の施設改修工事・修繕のほか、財団におきましても京都市との指定管理契約に基づき、計画的な改修・修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例 (財団施工分)

修 繕 内 容
警備室ITVモニター修繕
ITV設備カメラコントロールユニット修繕
スタインウェイピアノ1台の全弦張替修繕
エレベーター寿命部品交換修繕
楽屋系列インターネット無線LAN環境整備
光電話化機器設備修繕

2 お客様のサービス向上に向けた取組

(1) チケット票券管理システムの導入

これまで手作業で行っていたチケット管理について票券管理システムを導入することにより、チケットが買いやすい仕組みを構築し、お客様へのスムーズなチケット販売を提供致しました。

今後は更に、ロームシアター京都のオープンに向け、両施設のチケットが相互に購入できるサービスの構築を進めます。

(2) ホームページの充実

ホームページではインターネットの利点を最大限に活かし、閲覧者に常に新鮮な情報を発信しました。鑑賞者に向けては公演前に公演の魅力を盛り込んだインタビューを掲載し、いち早く公演情報やチケット発売等の情報をお届けし、ホール利用者に向けてはトピックスとして、土日祝日の空き情報の公開など利便性の向上に努めました。

今後は、京都コンサートホール開館20周年、ロームシアター京都オープンに向けホームページのリニューアルを検討し、更に、魅力あるホームページとなるよう掲載情報を充実させるとともに、画面の見やすさや操作の簡易化にも工夫をして参ります。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数

会 館 名	平成25年度	平成26年度	26年度－25年度
京都コンサートホール	21,757 件	21,066 件	－691 件
東 部 文 化 会 館	3,378 件	3,536 件	+158 件
呉 竹 文 化 セ ン タ ー	4,597 件	4,368 件	－229 件
西文化会館ウエスティ	3,293 件	3,129 件	－164 件
北 文 化 会 館	3,878 件	3,896 件	+ 18 件
右京ふれあい文化会館	4,432 件	4,217 件	－215 件
京 都 市 交 響 楽 団	50,599 件	52,917 件	+ 2,318 件

(3) デジタルサイネージ (電子掲示板) の導入に向けた検討

鑑賞者に情報をタイムリーに伝達するために、チケットカウンターやエントランスなど、施設内各所にデジタルサイネージ (電子掲示板) の設置について検討し、平成26年度は、チケット票券管理システムのモニター画面を利用して、開催公演の情報を表示するなど、一部導入を開始しました。

(4) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度に全施設に設置したCS（顧客満足度向上）会議やホールレセプションスト会議を引き続き毎月開催し、施設管理運営における問題点の改善やサービス向上に努めました。

施設で働く全部門の従事者の代表が参加し、利用ニーズの把握、要望の検証等を協議し、「利用者が望むものは何か」を常に考え、利用者の期待を裏切らない接客・応対を実施してまいりました。

(5) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置

平成23年11月から実施している「理事長への手紙」を引き続き実施し、手紙をいただいた皆様からのご意見を参考にサービス向上に努めました。

また、施設の利用に関する要望や提案をお伺いするために、「お客様ご意見箱」の設置や、施設を利用する全ての利用者（鑑賞者、主催者、来館者等）を対象にしたアンケート調査を実施しました。さらに、施設をご利用いただいた皆様へ、後日、アンケートを兼ねたお礼状を送付し、リピーターの確保及びニーズ把握に努めました。

(参考) アンケート調査の結果【満足と回答いただいた割合】

項目	京都コンサートホール	東部文化会館	呉竹文化センター	西文化会館ウエスティ	北文化会館	右京ふれあい文化会館
対応の仕方	94%	88%	92%	73%	92%	83%
身だしなみ	92%	85%	91%	75%	90%	83%
態度	94%	88%	88%	76%	87%	77%
説明の仕方	93%	87%	92%	72%	86%	80%
窓口の印象	92%	88%	91%	79%	90%	84%
会館内の快適さ	91%	91%	94%	87%	86%	93%

利用者や来館者からは、上記のとおりすべての項目において良好な評価をいただきましたが常に利用者の目線に立ち改善を図るべく、今後も利用者からのアンケート調査を行い、今後のサービス向上の具体的な取り組みに活かして参ります。

(6) 京都コンサートホール鑑賞マナーの推奨

鑑賞者に演奏会をより快適な空間・環境で楽しんでいただくために、「鑑賞マナーリーフレット」の配布や館内に鑑賞マナー向上についてポスターを掲示して、京都コンサートホールに来ていただいた全ての鑑賞者が満足していただけるコンサート作りに努めました。

3 集客のための取組

(1) 各種会員制度の会員数拡大に向けた取組

「京都コンサートホールClub」「スペシャルメンバーズ」「京響友の会」の各会員制度の周知を図るとともに、会員共通サービスとして京都市交響楽団の練習風景を公開するなど、各会員制度を有機的に活用し、新規会員の獲得に努めました。

オンライン会員についても、メールマガジンで月2回程度情報を発信して京都コンサートホールへの関心を喚起し、会員の維持・拡大を行いました。

(参考) 会員数の推移

(単位：人)

会員制度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
京都コンサートホールClub	1,188	1,905	1,783	1,831
スペシャルメンバーズ	421	374	374	276
京響友の会 個人会員	926	951	951	1,164
京響友の会 法人会員(社)	85	84	84	85

(参考) インターネット会員登録数

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
新規登録数	2,841名	3,867名	3,387名	3,695名
累計登録数	8,504名	12,371名	15,758名	19,453名

(2) スペシャルメンバーズ制度の運営

平成11年度から、海外オーケストラを中心に複数の特選公演を組み合わせ、料金の割引と特典を付与した「スペシャルメンバーズ」を運営しています。

平成26年度は、前述の「モントリオール交響楽団」「ローマ・サンタ・チェチーリア管弦楽団」「バイエルン放送交響楽団」の3公演をセット販売しました。また、共通座席「マイシート」により、京都コンサートホールで世界トップクラスの音楽を堪能していただきました。

(3) 学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境の整備

コンサートホールの自主事業における学生割引、シニア割引、障がいのある方割引を実施し、学生、高齢者、障がいのある方等が音楽を鑑賞しやすい環境を整備しました。

(4) ウィークデーパッケージプランの運用

株式会社エフエム京都との共同により、財団がホール利用料金の一部を負担し、株式会社エフエム京都がラジオでのスポット枠(空き枠)を利用してコマーシャルを流す、平日利用限定の「京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン」を引き続き実施し、13事業を開催し、利用率向上に貢献しました。

(参考) ウィークデーパッケージプラン事業数

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業数	8事業	23事業	13事業	13事業

(参考) 平成26年度 京都コンサートホール ウィークデーパッケージプラン実施実績

事 業 名	事 業 日	主 催 者
呉 信一 京都市立芸術大学退館記念 コンサート	4月14日 (月) アンサンブルホールムラタ	岡本 哲
バート・バカラック コンサート2014	4月18日 (金) 大ホール	キョードー インフォメーション
横山 源 チェロ・リサイタル	6月5日 (木) アンサンブルホールムラタ	京都新音楽協会 ミューズ
宮田 大 チェロ・リサイタル	6月19日 (木) アンサンブルホールムラタ	(株)オトノワ
クワトロ・チェリ	7月29日 (火) 大ホール	(一財)民主音楽協会
京都トランペットグループ Summer Breeze Vol.14	8月28日 (木) アンサンブルホールムラタ	早坂 宏明
葉加瀬太郎 コンサート	11月27日 (木) 大ホール	キョードー インフォメーション
サンクトペテルブルグ室内合奏団	12月9日 (火) 大ホール	(株)オトノワ
平沼有梨 「PRISM」 feat.古澤 巖	12月10日 (水) アンサンブルホールムラタ	(株)JEUGIA
佐竹祐介Playsシューマン「愛の調べ」 シネマ&リサイタル	12月12日 (金) アンサンブルホールムラタ	(株)グループ未来
大友直人 指揮 京都市交響楽団	12月18日 (木) 大ホール	京都新音楽協会 ミューズ
驚異のプラス・アンサンブル! ムノツィル・プラス	2月18日 (水) 大ホール	(一財)民主音楽協会
第4回東京メトロポリタンプラス クインテット東京公演	3月4日 (火) アンサンブルホールムラタ	(有)エラート音楽事務所

■ 地域文化会館

(京都市東部文化会館, 京都市呉竹文化センター, 京都市西文化会館ウエスティ, 京都市北文化会館, 京都市右京ふれあい文化会館)

地域の特性を活かした文化芸術活動の拠点となるために、地域文化芸術活動活性化協議会からの意見や提案を受け、文化会館のコーディネーターが地域の文化芸術団体や個人との連携事業やアウトリーチ事業をコーディネートするなど、文化芸術活動の活性化に向け様々な事業に取り組みました。

I 自主事業 (49事業 81公演 4講座)

1 地域の文化芸術活動活性化への取組

昨年度に続き、財団重点目標を実現するために、以下の事業を実施しました。

【重点目標】

- ① 文化芸術活動の拠点（ネットワークの中心）としての機能を強化すること。
- ② 誰もが容易に文化芸術に触れ、親しむことができる環境を整備し、効果的に提供すること。
- ③ 文化芸術団体等への支援により市民の文化芸術活動を活性化させること。
- ④ 財団が管理するホール・会館・京都市交響楽団との相互連携による総合的運営を実現すること。

(1) 地域文化芸術活動活性化協議会の開催



地域文化芸術活動活性化協議会からの提案や意見を受け、コーディネーターが地域の文化芸術団体や個人と連携する事業を各地域文化会館で実施しました。西文化会館ウエスティではプロ・アマチュアを問わず、地域の文化芸術団体及び個人にパフォーマンスを行う場所（創造活動室）を提供する「ウエスティ・パフォーマンス広場」

を年3回開催し、地域の文化芸術の活性化に寄与しました。具体的には子どもを対象とした劇団や、地元で活動しているハーモニカ同好会、大正琴同好会、日本民謡小田流社中のパフォーマンスによるコンサートを実施し、多くの市民にご来場いただきました。また、東部文化会館では、市営地下鉄山科駅「音の広場」においてギター・マンドリンやコーラスなど芸術文化活動団体による「ナイスミート@エコム2014」を開催しました。

(2) コーディネーターの取組

平成26年度は、地域における文化芸術活動の活性化、文化芸術が浸透したまちづくりを目的とし、地域文化会館のコーディネーターが中心となって、地域の教育機関、文化芸術活動団体等とのネットワークを活用し、地域の特性を活かした密着型プログラムとして、重点的にアウトリーチ事業に取り組んでまいりました。

アウトリーチ事業



協力団体（文化芸術活動団体）を開催団体（受入施設：学校等の教育施設，病院や福祉施設，商業施設等）に派遣し，ワークショップやミニコンサートを行うアウトリーチ事業を，平成26年度は5館で計82公演を実施しました。具体的活動として，東部文化会館では，山科・醍醐地域の福祉施設や児童館など1日間8箇所で「アウトリーチ・ジャンボリー in 山科・醍醐」と題して，協力団体9団体によるワークショップやミニコンサートを実施し，また，呉竹文化センターでは，協力団体である大谷大学落語研究会が近隣の福祉施設において落語会の開催，北文化会館では，プロの演奏家が地元小学校においてミニコンサートやヴァイオリン等の楽器を生で触れるワークショップを実施するなど，市民が身近に芸術文化に触れる機会を創出しました。

（参考）その他各会館の活動一部

会館名	内 容
東部文化会館	京都市日ノ岡地域包括支援センターにおいて，トレフル・クワチュールがフルートのミニコンサートを実施
呉竹文化センター	深草児童館において，京・伏見音楽サークル和音が吹奏楽のミニコンサートを実施
西文化会館ウエスティ	川岡敬老会のイベントに，吹奏楽団京都ムジークフェラインが吹奏楽のミニコンサートを実施
北文化会館	介護老人保健施設「がくさい」において，京都府立大学邦楽部が箏曲のミニコンサートを実施
右京ふれあい文化会館	グラнда山ノ内春の音楽会において，京都ウインドオーケストラが吹奏楽のミニコンサートを実施

（3）コーディネーターによる文化芸術活動パワーアップ支援事業の実施

演劇，舞踊，伝統芸能などの舞台芸術や絵画・工芸品の作品展示など幅広い市民の文化芸術活動に対し，経費の一部を助成するとともに，各地域文化会館のコーディネーターが施設活用や舞台づくりのアドバイスを行い，芸術性や創作性の向上に向けた支援を行う「文化芸術活動パワーアップ支援事業」を継続実施してまいりました。

(参考) 平成26年度は5団体・個人を支援

会館名	支援団体・個人名	活動(企画)名
東部文化会館	混声合唱団アンサンブルエバン	合唱の力で地域に世代間交流の場を
呉竹文化センター	沓掛☆歌劇団	そうだ、コンサートに行こう!
西文化会館ウエスティ	でんおん管絃講	雅楽時空をこえた出会いー遠州森町に伝えられる雅楽+古代中世の古雅楽譜解説ー
北文化会館	佐野真希子	佐野真希子プロデュース公演「夏の声」
右京ふれあい文化会館	竹下 清	魅せるバンドLIVE FESTA! 2015

※文化芸術活動パワーアップ支援事業とは

地域文化会館のコーディネート力を活用して、市民文化活動の芸術性の向上、文化芸術団体相互のネットワークの強化、地元団体と文化芸術団体との連携の促進等に取組むことにより、地域の文化芸術活動の活性化を図ることを目的として行う事業です

(4) 文化芸術活性化パートナーシップ事業の実施



文化芸術活動の活性化やネットワークの強化を図るため、鑑賞型の無料公演に加えて、各地域文化会館の内外で、地域の子どもたちを対象に生演奏を聴かせるミニコンサートや楽器体験、楽器講習会などの教育プログラムを教育機関、地元の企業とも連携し実施しました。北文化会館のパートナー団体である吹奏楽団「雅」は、「親子で楽しむすいそうがく」において、親子で楽しんでもらえるアニメ曲などの演奏に加え、楽器体験や指揮者体験など、吹奏楽を身近に感じてもらう企画で「教育プログラム」を開催しました。

(参考) 平成26年度パートナーシップ団体

会館名	パートナーシップ団体
東部文化会館	日吉ヶ丘ギターマンドリンアンサンブル 京都弦楽合奏団
呉竹文化センター	墨染交響楽団 京・伏見音楽サークル和音
西文化会館ウエスティ	特定非営利活動法人京都フィルハーモニー室内合奏団 吹奏楽団京都ムジックフェライン
北文化会館	吹奏楽団「雅」 京都セシリア合唱団
右京ふれあい文化会館	京都ウインドオーケストラ NEO吹奏楽団

※文化芸術活性化パートナーシップ事業とは

演劇・音楽・ダンスなど舞台芸術活動団体(パートナー団体)と地域文化会館が協働で、地域の文化芸術活性化を目的とし、魅力ある舞台芸術を披露する「無料公演」、未来を担う子どもたちを対象にワークショップやミニコンサートを行う「教育プログラム」を年1回以上開催することを条件に、拠点となる文化会館のホールを練習で利用する場合、通常料金の2割で利用することができるほか、文化会館が活動情報の発信や地域活動への協力などを行う事業です。

(5) 地域の情報発信拠点としての取組

各地域文化会館において、地域イベント・コミュニティ情報用の掲示板等を施設内に設置し、地域の多彩なイベント案内やコミュニティ情報のチラシ・ポスターを配架・掲示するなど地域の文化芸術の情報発信を行い、地域の文化芸術の活性化に取り組んでまいりました。

2 市民の文化芸術活動への参加の促進

表 現



市民の誰もが文化芸術活動に参加し自己表現することに感動できる事業として、「市民創造ステージ」を地域文化会館5館で開催しました。西文化会館ウエスティでは、地域の文化芸術活動の活性化を目的とし、地域で活動している様々なジャンルの文化芸術活動団体がパフォーマンスを行う「ウエスティ・パフォーマンス広場」を年3回開催しました。

学 ぶ



右京ふれあい文化会館では、50歳以上の市民を対象に舞台芸術の創作・創造する課程を学ぶことで、熟年世代が自己表現と芸術文化に理解を深めてもらうワークショップ「第4期京都熟年朗読劇アカデミー」を開催し、講座最終回は卒業発表公演を行いました。また、市民が世界の文化（民族楽器、民族ダンス、世界各国の料理等）に触れ学ぶ機会を創出するプログラム「右京ワールド・ミュージックフェスタ2015～世界へのトビラよ、ひらけゴマ！～」を開催しました。

創 造

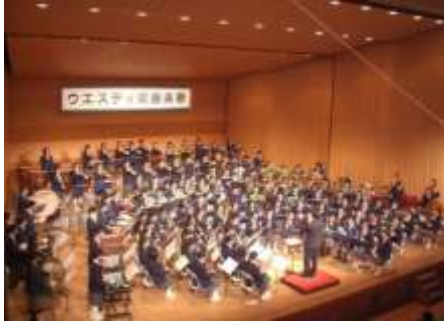


地域の創作文化の活性化を目的とし、東部文化会館では、会館を利用しているフラワーアレンジメントや和紙ちぎり絵などの文化教室・団体に、日頃の活動成果発表の場として合同の作品展示「東部みんなの作品展～イースト・ハート・ギャラリー～」を開催し、また、西文化会館ウエスティでは、書道、水彩画、フラワーアレンジメントなどの文化教室・団体による合同の作品展示「ウエスティみんなの作品展～四季の彩り～」を開催しました。

観る

映画文化の振興・発展を図るため、上質な映画作品を鑑賞する「特別上映会」を5月のゴールデンウィークの期間に、映画「じんじん」を地域文化会館5館で開催し、1,081名の来場がありました。

3 教育機関との連携及び教育活動への支援



中学校・高等学校の吹奏楽部の音楽活動を支援するため、東部文化会館では山科・醍醐地域の中学校吹奏楽部による「第27回ブラスバンド・イーストフェスティバル」、西文化会館ウエスティでは西京区内の中学校吹奏楽部による「2014年度ウエスティ吹奏楽祭」、右京ふれあい文化会館では右京区内の中学校吹奏楽部・音楽部による「第13回右京ふれあい合同演奏会」を開催しました。また、京都市立芸術大学との連携により、西文化会館ウエスティでは「ウエスティ音暦（おとごよみ）」を2公演、北文化会館では「京芸ルネッサンス2014 文化会館コンサートシリーズ」を2公演開催しました。

4 伝えたい地域の芸能

古都京都の財産である地域の芸能を市民に紹介する事業として、各地域文化会館で地域の伝統芸能の掘り起しを行い、それら伝統芸能の公演を、地域文化会館5館で開催しました。



(参考) 各地域文化会館の開催内容

会館名	タイトル	内容
東部文化会館	伝統芸能事業「稲荷信仰と神楽～折上稲荷神社のキツネ巫女による湯立て神楽～」	山科・西野の折上稲荷神社に伝わる「キツネ巫女による湯立て神楽」の上演と、それに関連する山科の歴史文化の講演
呉竹文化センター	地域伝統芸能との出会い「伏見の酒と酒造り唄」	月桂冠酒唄保存会にある酒造り唄・酒造り作業の上演と、酒造り唄の歴史についての講演
西文化会館ウエスティ	伝統芸能事業「對楊 聲明とインド古典舞踊の出会い」	泉浩洋（西京区十輪寺法主）の奏でる三弦と聲明の上演・解説と、仏教源流の地であるインド古典舞踊の上演
北文化会館	KITABUN伝統芸能音楽会「京都の民謡とわらべうた」	京都府下に伝わる民謡（酒造り唄）、わらべうた（子守唄）を地元の合唱団の協力により、合唱で上演
右京ふれあい文化会館	未来へつなぐ伝統芸能 国指定重要無形民俗文化財『六斎念仏』『嵯峨野六斎念仏』	国の重要無形文化財に指定されている右京区嵯峨野に伝わる「嵯峨野六斎念仏」を嵯峨野六斎念仏保存会により上演

5 青少年の文化創造をサポート



呉竹文化センターでは、市内6大学の落語研究会・サークルの学生による古典落語や漫才を披露する「学生お笑い呉竹寄席」を年2回開催し、北文化会館では、市内8大学の音楽サークルの学生が、吹奏楽、邦楽、合唱、和太鼓など幅広いジャンルの演奏を披露する「第5回KITABUN学生ミュージックフェスティバル」を開催し、学生間の交流を図るとともに、青少年の文化創造のサポートを行いました。

6 地域社会との交流事業の充実



地域の関係団体と連携し、未来を創る子どもたちに遊びと交流を通して想像力や感性を育み、舞台芸術に親しむ機会を提供するため、東部文化会館では、地域の大学、NPO法人、社会福祉協議会等と連携し、演劇鑑賞、ものづくり、科学実験などを行った「第10回こどもの文化フォーラム～あしたにむかってジャンプ!～」を開催、西文化会館ウエスティでは、西京区保育園長会と連携し、保育園児によるお遊戯などの舞台発表、保育園児の絵画等の作品展示などを行った「第13回西京区保育園フェスティバル」を開催、右京ふれあい文化会館では、児童館学童連盟、社会福祉協議会等と連携し、文化会館内では児童館・学童保育所の児童による舞台発表などを行った「右京ブロックじどうかんまつり2014」を開催しました。

7 親子で楽しむファミリーコンサートを開催



東部文化会館、呉竹文化センター、西文化会館ウエスティ、右京ふれあい文化会館では、幼児とその家族が舞台芸術に生で触れる機会を創出する「親子で楽しむファミリーコンサート2014」を開催、北文化会館では、音楽の持つ豊かさ癒しを子どもたちの情操の向上に活かす「KITABUNファミリーコンサート 0歳児からのクラシック」を開催しました。

8 クラシック音楽がある豊かな生活（京都市交響楽団との連携）



市民の誰もが気軽にクラシック音楽を楽しんでもらえるよう入場料を廉価に設定し、何処かで聴いたことのある曲を演奏プログラムとし、京都市交響楽団のメンバー「京都しんぷおにえった」による「ちょっと素敵な朝からクラシック」を呉竹文化センターで2回開催しました。また、地域の中学校の吹奏楽部の生徒を対象に、プロによる楽器指導を直接受ける機会を提供することにより中学生の演奏技術の向上を目的とした「京都市交響楽団員によるなるほどサポート」を開催しました。

（参考）文化会館における事業・公演数の変遷

年 度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事業数	49事業	55事業	54事業	49事業
公演数	88公演	91公演	93公演	81公演
講座数	4講座	5講座	5講座	4講座

※上記の数にアウトリーチ事業は含まれていない。

II 受託事業

1 指定管理者業務

(1) 施設（貸館）の利用実績

地域文化会館（ホール）が市民の文化芸術活動の拠点としての役割を十分果たすとともに、指定管理者として利用料金収入の増収を図るため、営業の強化に努めるとともに割引制度などを導入し利用の促進を図りました。

東部文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率（日数）の目標値	62 %	61 %	61 %	61 %
利用率（日数）の実績値	58 %	60 %	58 %	68 %
目 標 達 成 度	93.5 %	98.4 %	95.0 %	111.5 %

※平成26年度は空調設備工事により、利用可能日数が減少したことで、平成25年度と比較して実績値が10%増となった

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成25年度	平成26年度
入場者数（ホール）数値	44,781名	43,684名
利 用 料 金 収 入	30,505千円	29,687千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	1,014千円	4,486千円

※有料駐車場は平成25年10月1日から運用開始

呉竹文化センター

ア 利用率目標達成度

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率（日数）の目標値	64 %	69 %	73 %	76 %
利用率（日数）の実績値	78 %	77 %	75 %	76 %
目 標 達 成 度	121.9 %	111.6 %	102.7 %	100.0 %

※平成23年度から24年度においては、舞台設備吊物修繕により利用可能日が減少

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成25年度	平成26年度
入場者数（ホール）数値	68,927名	69,077名
利 用 料 金 収 入	41,132千円	41,573千円

西文化会館ウエスティ

ア 利用率目標達成度

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率（日数）の目標値	55 %	60 %	60 %	61 %
利用率（日数）の実績値	58 %	58 %	61 %	57 %
目 標 達 成 度	105.5 %	96.7 %	101.6 %	93.4 %

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成25年度	平成26年度
入場者数（ホール）数値	33,995 名	32,354 名
利 用 料 金 収 入	33,285 千円	31,524 千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	6,202 千円	5,529 千円

北文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率（日数）の目標値	76 %	80 %	80 %	80 %
利用率（日数）の実績値	80 %	78 %	69 %	78 %
目 標 達 成 度	105.3 %	97.5 %	86.2 %	97.5 %

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成25年度	平成26年度
入場者数（ホール）数値	38,503 名	36,679 名
利 用 料 金 収 入	37,402 千円	39,192 千円

右京ふれあい文化会館

ア 利用率目標達成度

区 分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
利用率（日数）の目標値	65%	73%	75%	76%
利用率（日数）の実績値	78%	74%	74%	77%
目 標 達 成 度	120.0%	101.4%	98.6%	101.3%

※平成23年度においては、レコーディングによる長期間のホール利用あり

イ 入場者数及び利用料金収入（平成23年度から利用料金制導入）

区 分	平成25年度	平成26年度
入場者数（ホール）数値	36,626 名	35,881 名
利 用 料 金 収 入	35,923 千円	36,434 千円
駐 車 場 利 用 料 金 収 入	6,025 千円	5,545 千円

(2) 舞台運営に関する企画等

主催者から舞台美術，舞台音響，舞台照明等に関する企画業務を受託しました。

これまでの舞台運営業務を通して蓄積したノウハウを利用者に提供し，利用者はもとより，観客に満足していただける舞台運営に努めました。

(参考) 平成26年度 催し物の企画業務に関する受託状況

会館名	受託件数	受託内容	収入金額
東部文化会館	11件	バレエ・ダンスの発表会 保育園生活発表会 他	159,840円
呉竹文化センター	8件	バレエ発表会，演劇 吹奏楽団定期演奏会 他	356,400円
西文化会館ウエスティ	7件	高校吹奏楽部定期演奏会 幼稚園生活発表会 他	75,600円
北文化会館	10件	カラオケ教室発表会 サークル発表会 他	162,000円
右京ふれあい文化会館	4件	バレエ・ダンスコンサート 舞台発表会 他	49,680円
計	40件		803,520円

(3) 施設・設備の維持管理

東部文化会館，呉竹文化センター，西文化会館ウエスティといずれも開設から相当な年月を経ています。このため，施設の所有者である京都市による施設改修工事・修繕のほか，財団でも，京都市との指定管理契約に基づき，計画的な改修・修繕に取り組みました。

(参考) 主な修繕事例（財団施工分）

会館名	修繕内容
東部文化会館	創造活動室音響ラック修繕
呉竹文化センター	舞台機構 Horizont 幕裾パイプ袋修繕
西文化会館ウエスティ	冷温水機パラジウムセル取替修繕
北文化会館	電動式椅子付観覧席バッテリー取替修繕
右京ふれあい文化会館	舞台照明設備部品取替修繕

2 お客様のサービス向上に向けた取組

(1) お客様満足度向上委員会（CS委員会）の推進

平成21年度に全施設に設置したCS（顧客満足度向上）会議を引き続き開催し，施設管理運営における問題点の改善やサービス向上の検討を行いました。

財団職員だけでなく施設で働く全部門の従事者の代表が出席し，利用者ニーズの把握，要望の検証，苦情への対処方法等を協議し，顧客の満足度の向上に向けたホスピタリティ（おもてなしの心の醸成）への追求に努めました。

(2) アンケート調査の実施及び「理事長への手紙」・お客様ご意見箱の設置【再掲】

京都コンサートホール 7ページ参照

(3) ホームページの充実

広報ツールとしても重要な役割をなすホームページの充実策として、平成23年度から地域文化会館のトップページにて事業の案内を閲覧できるシステムの導入や、施設の空き情報をこれまで以上に見やすくするなど、利用者へのサービス向上を図りました。

(参考) ホームページ月平均アクセス件数【再掲】

会館名	平成25年度	平成26年度	26年度－25年度
京都コンサートホール	21,757件	21,066件	－691件
東部文化会館	3,378件	3,536件	＋158件
呉竹文化センター	4,597件	4,368件	－229件
西文化会館ウエスティ	3,293件	3,129件	－164件
北文化会館	3,878件	3,896件	＋18件
右京ふれあい文化会館	4,432件	4,217件	－215件
京都市交響楽団	50,599件	52,917件	＋2,318件

3 集客のための取組

地域文化会館割引制度

平成23年度からの利用料金制度導入に伴い、地域文化会館のホール利用を促進するため、平日のホールの追加利用・区分連続利用に対するサービスの向上に努めました。

(1) 平日直前利用割引制度

京都コンサートホール（大ホール・アンサンブルホールムラタ）、地域文化会館（ホール）のいずれかで、演奏会・コンサート・講演会等の諸手続きが完了しており、ホール本番利用日の2箇月前の日から本番までの平日利用に限り、ホールを準備・リハーサル等で新たに利用される場合は50%を割り引く制度。

平成26年度 平日直前利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	7件	保育所、バレエ教室等
呉竹文化センター	2件	フラダンススタジオ、企業
西文化会館ウエスティ	6件	幼稚園
北文化会館	1件	器楽演奏団体
右京ふれあい文化会館	3件	バレエスタジオ、ピアノ教室等
計	19件	

(2) 平日連続区分利用割引制度

ホールを平日に2区分以上連続して利用する場合は、利用料金を15%割り引く制度。

平成26年度 平日連続区分利用割引制度適用件数

会館名	受託件数	主な利用者
東部文化会館	52件	学校関係、保育所等
呉竹文化センター	64件	中学校吹奏楽部、学校関係等
西文化会館ウエスティ	32件	地元企業、中学校吹奏楽部等
北文化会館	33件	中学校・高校吹奏楽部、バレエスタジオ等
右京ふれあい文化会館	46件	学校関係、バレエスタジオ等
計	227件	

■ ロームシアター京都

平成28年1月の開館に向け、オープニング及びオープニング・プレ事業、貸館・施設管理、広報・宣伝・営業、設計・工事に係る準備業務等について、各段階に応じた業務を実施しました。

I オープニング及びオープニング・プレ事業関連

開館後1年間にわたって実施するオープニング事業については、平成25年度に設置したロームシアター京都オープニング事業検討委員会において多様な観点から検討いただきました。平成26年9月11日に開催した第4回検討委員会の後には、小澤征爾委員長、市長、理事長による記者会見を行い、オープニング事業ラインアップを発表しました。また、委員会の議論で示された、「京都に『劇場文化』をつくる」という大きな目標のもと、各事業の企画・調整を進め、平成27年度及び平成28年度の事業実施に向けた準備を行いました。

オープニング・プレ事業については、平成27年3月18日に、キャンパスプラザ京都において、京都を拠点に多彩なジャンルで活躍する方々をゲストに招き、「トークイベント 京都における文化芸術と都市の未来」を開催し、ロームシアター京都のコンセプトをもとに、劇場と地域、人々の生活とつながりについてお話しいただくことを通して、開館に向けた機運を高めるきっかけづくりに取り組みました。また、3月26日には、みやこめっせにおいて、「小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトXⅢ 子どものためのオペラ 歌劇『子どもと魔法』」として、小学生を対象とするオペラ入門編の公演を、京都市内の小学生を無料で招待し、多くの子どもたちが間近にオペラを楽しめる企画として実施し好評を博しました。

多くの方々とともにオープニングを祝う冠事業については、第2期の受付を行うとともに、受付終了後も、引き続き随時受付を行うこととし、多くの応募をいただいています。

II 貸館・施設管理関連

貸館については、メインホール及びサウスホールについては、舞台芸術公演での利用の受付を18箇月前からとしており、平成26年10月より受付を開始しました。ノースホールについては、同じく12箇月前から受付を行うため、平成27年1月より受付を開始しました。受付開始にあたっては、劇場パンフレットや利用案内の作成、利用者向け説明会の開催などにより、貸館の周知や制度のわかりやすい説明に努め、従前の利用者にこれまで通り利用していただくとともに、新たな利用の促進を図る取組を進めました。

施設管理については、施設内の動線の確認等を行い、レセプション業務や総合案内業務等の来場者向けサービスの検討を進めました。また、施設設備の保守管理や警備、清掃等の施設運営に係る委託業者の選定に向けた仕様の検討を進め、舞台業務についてはプロポーザルによる選定を行いました。

賑わいスペースの活用については、賑わい事業者との調整等を進め、施設や事業等についての検討を行いました。

また、京都岡崎魅力づくり推進協議会に参画し、施設運営について地域の施設や団体に協力をお願いするとともに、岡崎地域の活性化に向け連携した取組が行えるよう、情報交換等に努めました。

Ⅲ 広報・宣伝・営業関連

広報・宣伝については、劇場パンフレットやオープニング事業パンフレットの作成、オープニング記念マークに関する一般投票の実施、オープニング・プレ事業の開催に伴う広報等を通じ、新しい劇場の誕生への期待感を高める取組を進めました。また、劇場ホームページで、施設概要や事業ラインアップ、舞台図面等を公開するとともに、TwitterやFacebookといったSNSでの情報発信等による話題づくりにも取り組みました。

また、ロームシアター京都で開催される公演等のチケット販売を行うためのシステムの導入に向けた準備を進めたほか、平成27年度に開始する友の会制度の検討を進めました。

貸館営業については、公演やコンサート等を実施する興行団体（プロモーター）や発表会等での利用が想定される学校等への働きかけを行うとともに、京都文化交流コンベンションビューローやみやこめっせ等とも連携し、MICE利用への対応なども積極的に行い、利用促進に向けた営業活動を進めました。

外部資金獲得に向けた取組としては、事業のさらなる充実に向け、文化庁を始めとする公的助成金や民間助成金、さらには、個別の事業ごとへの協賛金の獲得に努め、申請や依頼等を積極的に行いました。

また、ロームシアター京都のリニューアルオープンを契機に、京都の音楽・舞台芸術創造環境のさらなる向上のため、ロームシアター京都及び京都コンサートホールとの2つの拠点施設の事業を充実させることを目的として、広くご支援をいただくための賛助会員制度「サポーター・パートナー会員」を新たに設けました。会員特典は、税制上の優遇措置、ご芳名の掲載、情報誌の送付、チケットの先行予約、会員向けイベントへの案内等とし、平成27年度に関しては、ロームシアター京都の内覧会や開館記念式典への案内も予定しています。賛助会員制度のリーフレットを作成し、広く周知に努めるとともに、個別の企業訪問などを通じてご理解・ご賛同をいただくための働きかけを開始しました。

Ⅳ 設計・工事関連

設計・工事については、指定管理者として、施設運営の視点から、機構、照明、音響等の舞台設備や、サイン（案内）表示、連絡設備、監視モニター設備等の設備、また、備品等について京都市に提案を行いました。

また、開館後の安全な管理運営に向けた検討を進め、貸館受付時における舞台打ち合わせや舞台を安全に管理するためのマニュアルや、施設の危機管理に関するマニュアル等の作成に向けた準備を進めました。

■ 京都市交響楽団

I 自主事業（28事業41公演）

日本を代表する3人の常任指揮者陣，広上淳一，高関健，下野竜也のそれぞれの特色を生かした魅力的なプログラムや京響で初めて取り上げる楽曲に取り組むとともに，国内外で活躍する指揮者・ソリストを迎え，京響でしか聴くことのできない芸術性の高い，オリジナリティーあふれる演奏会を開催しました。

また，時宜に応じた適切な広報活動を行ったことにより，定期・特別演奏会全15公演（定期11公演，特別4公演）のうち10公演が完売したほか，オーケストラ・ディスカバリーやみんなのコンサート，京都 発見！クラシックにおいても5公演が完売するなど，多くのお客様にご来場いただき，大変好評を得ました。

1 定期演奏会

モーツァルトの「交響曲第35番『ハフナー』」や「ヴァイオリン協奏曲第5番」をはじめ，ベルリオーズの「交響曲『イタリアのハラルド』」やブラームスの「交響曲第4番」，ヤナーチェクの「シンフォニエッタ」やプロコフィエフの「交響曲第5番」など，古典派から近・現代までのレパートリーをバランスよくプログラミングした演奏会を開催しました。

また，指揮者には，3人の常任指揮者・広上淳一，高関健，下野竜也をはじめ，NHK交響楽団正指揮者の外山雄三，新国立芸術劇場オペラ芸術監督の飯守泰次郎のほか，フィンランドを代表する指揮者オッコ・カムや，ニュージーランド交響楽団の名誉音楽監督を務めるジェームズ・ジャッド，アメリカのメジャーオーケストラで活躍するエドウィン・アウトウォーターなど国内外の若手から巨匠まで幅広く迎え，ソリストには，ヴァイオリニストのクリストフ・バラージェィ，川久保賜紀，ヴィオリストの川本嘉子，ピアニストのニコライ・ホジヤイノフ，館野泉といった実力派を招き，充実した魅力ある演奏会の提供に努めました。

2 特別演奏会

（1）スプリングコンサート

「学生のまち・京都」「文化のまち・京都」をアピールし，学生や市民の皆様にご気軽にリーズナブルにクラシック音楽を楽しんでいただくため，ダグラス・ボストックの指揮の下，関西トップクラスの吹奏楽団「大阪市音楽団」を迎え，吹奏楽の名曲とオーケストラの名曲を演奏するスペシャルコンサートとして開催した結果，学生をはじめ，幅広い年齢層のお客様にご来場いただくことができました。

（2）第九，ニューイヤーコンサート

年末恒例の第九コンサートは，オーケストラだけでなく世界の主要オペラハウスでの指揮経験を持つ大野和士のタクトにより，2日間の公演を実施しました。

また，ニューイヤーコンサートには，期待の若手指揮者・垣内悠希と，将来を嘱望されるチェロの宮田大というフレッシュコンビにより，グルダの「チェロとブラス・オーケストラのための協奏曲」やベートーヴェンの「交響曲第6番『田園』」等，新年を迎えるにふさわしい華やかな曲目をお楽しみいただきました。

3 市外公演

恒例の名古屋公演及び大阪特別公演では、常任指揮者・広上淳一の指揮でヴァイオリンに米元響子（名古屋公演）、ピアノに横山幸雄（大阪特別公演）を迎え、マーラーの「交響曲第5番」やプロコフィエフの「交響曲第5番」等を上演し、市外の多くのお客様にご来場いただくことができました。

4 オーケストラ・ディスカバリー ―こどものためのオーケストラ入門―

「VIVA！オーケストラ」をテーマに、常任指揮者の広上淳一をはじめ4人の指揮者がナビゲーターとともに、どこかで一度は耳にしたことがある名曲を取り上げ、それぞれの作品の興味深いエピソードをナビゲーターが分かりやすく説明することで、音楽への理解と関心を高め、将来のクラシック愛好家の育成に寄与することができました。

また、開演前にはロビーイベントを実施するなどコンサートへの参加意識を高める取り組みを行いました。

5 みんなのコンサート

市民の文化芸術活動の拠点である地域文化会館を会場として音楽の旅をテーマに全6回開催しました。低料金で（前売800円、当日1,000円）、0歳児からシニアまでを対象に設定し、演奏内容も初心者から愛好家まで十分楽しめる良質なものにすることにより、幅広い年齢層のお客様にご来場いただくことができました。

6 京響プレミアム

クラシック以外のジャンルとのコラボレーションにより、普段の京響とは違った魅力を提供するため、広上淳一の指揮の下、作曲・編曲家の菅野祐悟を迎え、映画やドラマの劇中曲をオーケストラアレンジにてお届けすることにより、クラシックファンの更なる獲得や芸術文化の創造・開拓を図りました。

7 京都 発見！クラシック

文化人や俳優などをゲストに迎え、指揮者とのトークステージの後、オーケストラ演奏をお届けする2部構成による新しいシリーズ企画を開始しました。平日の昼間、シニア層を中心にお楽しみいただけるシリーズの第1回目のゲストとして、タモリ、山下洋輔、広上淳一を迎え、多くのお客様にご来場いただき、新しいクラシックコンサートの形を提示することができました。

8 京都市ジュニアオーケストラ

将来の音楽文化の担い手を育成し、京都の音楽文化をさらに発展させるため、京都市ジュニアオーケストラの演奏指導を行うとともに、10回目となる記念コンサートを実施しました。

9 その他

(1) 楽器講習会、訪問演奏等

吹奏楽連盟の協力のもと、中学生や高校生を対象に、楽器の実技指導を2回開催しました。また、福祉施設への訪問演奏の実施や、京都市が開催する行事への参加のほか、地元スポーツ団体や社寺等、京都ならではの場所にも積極的に出向きました。

(2) 京都市交響楽団練習風景公開事業

京都市交響楽団が身近な存在であることをアピールするため、毎月1回1時間、50名程度の見学者を募集し、練習風景を一般に公開しました。

II 共催事業

ポップスアーティストとのコラボレーションによる演奏会「シンフォニック・エヴォリューション with 華原朋美」や京都市内の小学生を対象とした音楽鑑賞教室を開催するなど、クラシック音楽の普及と新たなクラシックファンの獲得を図りました。

III 受託事業

京都市交響楽団の京都市内外での知名度の向上を図るとともに、より充実した自主事業を実施するための資金を獲得するため、京都市内外の学生を対象とした音楽鑑賞教室やびわ湖ホール主催のオペラ等、39事業について企画及び開催業務を受託しました。

■その他取組

I 事業運営の透明化、適正化の推進

1 企画運営委員会（全4回）・貸館等審査委員会

「京都コンサートホール企画・運営委員会」を、京都コンサートホール及びロームシアター京都を審議対象とする「公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団企画運営委員会」とし、企画・運営に関する基本事項の審議や助言をいただきました。

また、両館の貸館事業をより適切に運営するため、「貸館等審査委員会」を新設し、事業運営の透明化及び適正化の推進を図ってまいりました。

2 舞台芸術専門委員会

舞台芸術の専門委員による舞台芸術専門委員会を開催し、京都ならではの舞台芸術の創造や発信を目的とする舞台芸術活動の助言をいただきました。

II 環境への配慮

「環境モデル都市・京都」の取り組みとして、平成20年2月に認証取得したKESステップ1について、平成27年2月に継続認証を取得しました。

また、前年度に引き続き、平成26年11月に開催された「世界の京都・まちの美化市民総行動」による京都市内の美化活動に当財団職員も多数参加し、地球環境にやさしいまちづくりに貢献しました。

III 情報の収集

1 公立文化施設協議会

公立文化施設を構成員とする、公益社団法人全国公立文化施設協会、公益社団法人全国公立文化施設協会近畿支部、京都府公立文化施設協議会に京都コンサートホールが加盟し、事業に参画しました。

平成26年度は、京都コンサートホールが京都府公立文化施設協議会の会長として、積極的に協議会の運営に貢献しました。

2 コンサートホール企画連絡会議等への参加

運営環境が類似する国内主要ホールを構成員とするコンサートホール企画連絡会議に京都コンサートホールが参加し、事業や昨今の公立施設を取り巻く環境の変化について情報や意見の交換を行いました。

■ 組織運営のための取組

I 人材育成・職員研修

職員一人ひとりが、常に知識、意欲、技術の向上を図ることで、利用者により一層好感度を高めていただくとともに、市民の文化芸術活動を適切に支援し、さらに当財団が文化芸術の振興のための事業を効果的に行うことができるよう研修を実施しました。

接遇・応対研修については、下記のとおりステップアップ研修を実施し、職員の接遇・応対マナーの向上に取り組みました。

また、各施設において消防訓練の実施や、AED講習など、様々な危機管理・安全対策研修や講習を実施することにより、当財団職員の緊急時における対応・知識力を向上させ、不測の事態にも冷静に対応できるように備えました。

(参考) 平成26年度 研修内容

研修名	接遇マナーステップアップ研修
実施日	平成27年2月24日(火)
受講人数	69名
研修内容	研修「接遇マナーステップアップ研修」 講師 株式会社インソース 今岡 まゆみ 氏
会場	北文化会館

II 新人事給与制度の更なる強化

平成25年4月から運用を開始した新人事給与制度により、経営の安定化を図るとともに、プロパー職員が財団運営の中心となって働きがいのある職場づくりを進めて参りました。

平成26年度については、一定の要件を満たした嘱託職員を一般職員へ登用をする内部公募を実施致しました。

III 組織・職員体制

1 組織改正

平成26年度は引き続き、総務部、事業企画部、業務管理部、ロームシアター京都、京都市交響楽団の5部門体制とし、指定管理業務の執行体制の強化を図るとともに財団の資金調達の強化に向けた組織改正を行いました。

2 組織運営

次期指定管理業務の選定に備え、組織体制整備に加え、以下の会議開催により連絡体制の確立、情報の迅速な共有化等を図り円滑な財団運営に努めました。

- ① 専務理事、事務局長、シニアマネージャー、総務及び業務管理部の部長、ロームシアター京都支配人、課長及び文化会館の各館長を構成員とする所属長会を開催
- ② チーフコーディネイター、文化会館担当係長及び文化会館のコーディネイターを構成員とするコーディネイター会議を開催

- ③ コンサートホール担当課長，業務管理係長，文化会館担当係長，各文化会館の管理担当者を構成員とする管理担当者会議を開催

これらの諸会議を通じ，京都コンサートホール，地域文化会館，ロームシアター京都及び京都市交響楽団の管理運営に係る事項について情報を共有し，貸館業務，施設管理業務の統一的な処理とそれぞれのホール特性に応じた自主事業の展開等について検討しました。

3 人事異動

平成26年4月1日付けで総数18名の人事異動を行いました。

(参考1) 財団職員数の推移

職名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
固有職員	35名	33名	32名	32名
嘱託職員	26名	25名	28名	30名
市からの出向職員	6名	6名	6名	6名
市派遣嘱託職員	85名	92名	90名	89名
計	152名	156名	156名	157名

※各年度すべて4月1日現在の人数とする

※平成25年度については8月1日現在の人数とする

(参考2) 財団役職別職員数の推移

職名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
事務局長	1名	1名	1名	1名
部長級	2名	2名	5名	5名
課長級	11名	11名	10名	11名
係長級	15名	14名	16名	15名
リーダー (主任)	11名	14名	13名	14名
職員	28名	23名	22名	23名
音楽スタッフ	5名	6名	4名	3名
楽団員	79名	85名	85名	85名
計	152名	156名	156名	157名

※平成25年度から主任についてはリーダーに名称変更

IV 庶務報告

1 役員会の開催

平成26年度は次のとおり、理事会及び評議員会を開催し、すべての議案について可決されました。

(1) 第1回理事会（決議省略） 平成26年4月1日

<議案> ・業務執行理事（専務理事）の選定及び解職について

(2) 第1回評議員会（決議省略） 平成26年4月1日

<議案> ・理事の選任について
・評議員の選任について

(3) 第2回理事会 平成26年5月19日

<議案> ・平成25年度事業報告について
・平成25年度特定費用準備資金及び特定資産取得・改良資金の保有について
・平成25年度補正予算について
・平成25年度決算について
・平成26年度特別寄附金の受領について
・平成26年度補正予算について
・平成26年度第2回評議員会の日時及び場所並びに議事に付すべき事項について
・企画運営委員会及び舞台芸術専門委員会委員の選任について
・京都会館オープニング事業検討委員会要綱の改正について
<報告> ・新中期経営計画2016について

(4) 第2回評議員会 平成26年6月12日

<議案> ・平成25年度事業報告について
・平成25年度決算について
・評議員の退任について
・理事の選任について
・評議員の選任について
<報告> ・新中期経営計画2016について

(5) 第3回理事会（決議省略） 平成26年6月12日

<議案> ・代表理事（理事長）の選定について
・業務執行理事（専務理事）の選定について
・顧問の選任について

(6) 第4回理事会 平成26年11月17日

<議案> ・平成27年度主要事業計画について

<報告> ・京都市芸術文化施設等指定管理者の候補となる団体の選定結果について

(7) 第5回理事会 平成27年3月24日

<議案> ・平成26年度補正予算について

・特定費用準備資金の保有について

・平成27年度事業計画について

・平成27年度収支予算について

<報告> ・理事長の決議事項である規程の改正について

・ロームシアター京都管理運営状況について

2 役員の異動

(1) 第1回評議員会（決議省略）の承認による

ア 評議員の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
河内 秀 則	日本放送協会京都放送局局長	平成26年4月 1日

イ 評議員の退任

氏名	役職（退任日現在）	退任日
井上 利 丸	前日本放送協会京都放送局局長	平成26年4月 1日

ウ 理事の就任

氏名	役職（承認日現在）	就任日
藤井 宏一郎	前京都市選挙管理委員会事務局長	平成26年4月 1日

エ 理事の退任

氏名	役職（退任日現在）	退任日
尾本 恵 一	前公益財団法人 京都市音楽芸術文化振興財団専務理事	平成26年4月 1日

(2) 第2回評議員会の承認による

ア 評議員の就任

氏名	役職(承認日現在)	就任日
山内 清	京都市国際交流会館館長	平成26年6月12日

イ 評議員の退任

氏名	役職(退任日現在)	退任日
柴田 重徳	前京都市国際交流会館館長	平成26年6月12日

ウ 理事の就任

新再任の別	氏名	役職(承認日現在)	就任日
再任	青山 恒	NHKプラネット近畿総支社番組制作プロデューサー	平成26年6月12日
〃	尾池 和夫	京都造形芸術大学学長	〃
新任	大嶋 義実	京都市立芸術大学音楽学部長	〃
再任	鴛 渕 紹子	同志社女子大学名誉教授	〃
〃	榊 田 隆之	京都信用金庫専務理事	〃
〃	田 隅 靖子	京都市立芸術大学名誉教授	〃
〃	谷 口 享	公益財団法人ロームミュージックファンデーション事務局参事	〃
〃	長 尾 真	元京都大学総長	〃
〃	鍋 谷 剛	オムロン株式会社グローバルソリューションズマネジメント本部総務部長	〃
〃	藤 井 宏一郎	前京都市選挙管理委員会事務局長	〃
〃	森 川 佳 昭	京都市文化市民局文化芸術都市推進室長	〃

エ 理事の退任

氏名	役職(退任日現在)	退任日
理事 山本 毅	前京都市立芸術大学音楽学部長	平成26年6月12日

(3) 第3回理事会の承認による

ア 顧問の就任

氏名	役職(承認日現在)	就任日
中村 三之助	京都市会議長	平成26年6月12日

イ 顧問の退任

氏名	役職(承認日現在)	就任日
橋村 芳和	前京都市会議長	平成26年6月12日

3 登記事項

(1) 第1回評議員会による評議員・理事の変更。

氏名		登記日
評議員	河内 秀則	平成26年4月17日
理事	藤井 宏一郎	平成26年4月17日

(2) 第2回評議員会による評議員・理事の変更

氏名		登記日
評議員	山内 清	平成26年6月27日
理事	青山 恒	平成26年6月27日
理事	尾池 和夫	平成26年6月27日
理事	大嶋 義実	平成26年6月27日
理事	鴛 渕 紹子	平成26年6月27日
理事	榊 田 隆之	平成26年6月27日
理事	田 隅 靖子	平成26年6月27日
理事	谷 口 享	平成26年6月27日
理事	長 尾 真	平成26年6月27日
理事	鍋 谷 剛	平成26年6月27日
理事	藤 井 宏一郎	平成26年6月27日
理事	森 川 佳 昭	平成26年6月27日

『収益事業』

I 公益目的外の施設提供事業

1 駐車場経営

指定管理業務として主に来館者向け駐車場として運営いたしました。

(参考)

会館名	駐車可能台数	駐車場収入金額
京都コンサートホール	100台	23,339,120円
東部文化会館	37台	4,485,600円
西文化会館ウエスティ	53台	5,529,000円
右京ふれあい文化会館	67台	5,545,200円
計	257台	38,898,920円

2 オリジナルグッズ販売等

京都コンサートホールオリジナルグッズ（9種類）、音楽に関連したグッズ（約30種類）及び京響オリジナルグッズを販売しました。

(参考)

項目	収入金額
京都コンサートホールグッズ収入	578,993円
プログラム等販売収入	281,800円
チケット印刷	2,518,110円
京響オリジナルグッズ収入	1,127,665円
計	4,506,568円

3 プレイガイドの運営

主催者から、入場券の作成業務及び入場券の販売業務を受託し、それぞれのプレイガイドで販売しました。

(参考) 入場券販売業務受託状況

会館名	受託件数	収入金額
京都コンサートホール	177件	6,434,904円
東部文化会館	5件	18,300円
呉竹文化センター	7件	47,400円
西文化会館ウエスティ	5件	26,030円
北文化会館	4件	19,520円
右京ふれあい文化会館	3件	37,880円
計	201件	6,584,034円

4 自動販売機の管理運営

京都コンサートホール、呉竹文化センター及び右京ふれあい文化会館に設置された自動販売機の管理運営を行いました。

(参考)

会館名	収入金額
京都コンサートホール	385,054 円
呉竹文化センター	202,397 円
右京ふれあい文化会館	273,966 円
計	861,417 円

平成26年度

決 算 書

公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	246,477,781	249,496,202	△ 3,018,421
未収金	130,033,974	65,861,322	64,172,652
貯蔵品	5,442,380	6,010,462	△ 568,082
前払金	5,536	102,486	△ 96,950
流動資産合計	381,959,671	321,470,472	60,489,199
2. 固定資産			
(1)基本財産			
投資有価証券	83,000,000	83,000,000	0
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	103,000,000	103,000,000	0
(2)特定資産			
記念事業引当資産	158,186,000	158,186,000	0
管理運営引当資産	352,000,000	369,305,805	△ 17,305,805
退職給付引当資産	189,791,869	197,310,549	△ 7,518,680
特定費用準備資金	125,306,910	117,246,910	8,060,000
特定資産取得・改良資金	3,857,488	10,000,000	△ 6,142,512
特定資産合計	829,142,267	852,049,264	△ 22,906,997
(3)その他固定資産			
什器備品	13,560,861	9,688,830	3,872,031
電話加入権	314,370	314,370	0
その他固定資産合計	13,875,231	10,003,200	3,872,031
固定資産合計	946,017,498	965,052,464	△ 19,034,966
資産合計	1,327,977,169	1,286,522,936	41,454,233
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	150,151,408	114,927,555	35,223,853
未払法人税等	320,000	320,000	0
前受金	142,556,171	124,048,835	18,507,336
預り金	36,185,180	36,237,638	△ 52,458
流動負債合計	329,213,119	275,534,028	53,679,091
2. 固定負債			
退職給付引当金	189,791,869	197,310,549	△ 7,518,680
固定負債合計	189,791,869	197,310,549	△ 7,518,680
負債合計	519,004,988	472,844,577	46,160,411
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
京都市出えん金	55,000,000	55,000,000	0
指定正味財産合計	55,000,000	55,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(55,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	753,972,181	758,678,359	△ 4,706,178
(うち基本財産への充当額)	(48,000,000)	(48,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(639,350,398)	(654,738,715)	(0)
正味財産合計	808,972,181	813,678,359	△ 4,706,178
負債及び正味財産合計	1,327,977,169	1,286,522,936	41,454,233

貸借対照表内訳書

平成27年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	162,594,504	82,157,574	1,725,703	0	246,477,781
未収金	162,080,945	458,721	0	32,505,692	130,033,974
貯蔵品	0	5,442,380	0	0	5,442,380
前払金	5,536	0	0	0	5,536
流動資産合計	324,680,985	88,058,675	1,725,703	32,505,692	381,959,671
2. 固定資産					
(1)基本財産					
投資有価証券	83,000,000	0	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	0	20,000,000
基本財産合計	103,000,000	0	0	0	103,000,000
(2)特定資産					
記念事業引当資産	158,186,000	0	0	0	158,186,000
管理運営引当資産	352,000,000	0	0	0	352,000,000
退職給付引当資産	154,625,710	31,952,717	3,213,442	0	189,791,869
特定費用準備資金	125,306,910	0	0	0	125,306,910
特定資産取得・改良資金	3,857,488	0	0	0	3,857,488
特定資産合計	793,976,108	31,952,717	3,213,442	0	829,142,267
(3)その他固定資産					
什器備品	13,055,952	35,033	469,876	0	13,560,861
電話加入権	314,370	0	0	0	314,370
その他固定資産合計	13,370,322	35,033	469,876	0	13,875,231
固定資産合計	910,346,430	31,987,750	3,683,318	0	946,017,498
資産合計	1,235,027,415	120,046,425	5,409,021	32,505,692	1,327,977,169
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	165,879,671	14,727,082	2,050,347	32,505,692	150,151,408
未払法人税等	0	320,000	0	0	320,000
前受金	138,153,634	4,402,537	0	0	142,556,171
預り金	16,320,588	19,719,360	145,232	0	36,185,180
仮受金	0	360	0	0	360
流動負債合計	320,353,893	39,169,339	2,195,579	32,505,692	329,213,119
2. 固定負債					
退職給付引当金	154,625,710	31,952,717	3,213,442	0	189,791,869
固定負債合計	154,625,710	31,952,717	3,213,442	0	189,791,869
負債合計	474,979,603	71,122,056	5,409,021	32,505,692	519,004,988
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
京都市出資金	55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産合計	55,000,000	0	0	0	55,000,000
(うち基本財産への充当額)	(55,000,000)	(0)	(0)	(0)	(55,000,000)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)	705,047,812	48,924,369	0	0	753,972,181
(うち特定資産への充当額)	(48,000,000)	(0)	(0)	(0)	(48,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(639,350,398)	(0)	(0)	(0)	(639,350,398)
正味財産合計	760,047,812	48,924,369	0	0	808,972,181
負債及び正味財産合計	1,235,027,415	120,046,425	5,409,021	32,505,692	1,327,977,169

平成26年度正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
①基本財産運用益	1,241,690	1,241,690	0	
1 基本財産運用益	1,241,690	1,241,690	0	
基本財産受取利息等	1,241,690	1,241,690	0	
②特定資産運用益	1,139,094	1,288,789	△ 149,695	
1 特定資産運用益	1,139,094	1,288,789	△ 149,695	
特定資産受取利息等	1,139,094	1,288,789	△ 149,695	
③事業収益	1,350,631,572	1,268,812,163	81,819,409	
1 自主・共催事業収益	387,061,834	342,025,381	45,036,453	
入場料収益	119,719,288	122,067,516	△ 2,348,228	
参加料収益	2,403,720	1,730,400	673,320	
友の会会費	51,725,000	49,789,500	1,935,500	
京響コース会費	2,292,000	2,503,000	△ 211,000	
広告料収益	14,250,000	14,843,000	△ 593,000	
共催事業収益	66,087,680	51,699,413	14,388,267	
助成金収益	126,281,788	95,848,110	30,433,678	
物品販売等収益	3,822,424	3,544,442	277,982	
著作隣接権等収益	479,934	0	479,934	
2 事業受託収益	124,781,989	122,386,486	2,395,503	
事業受託収益	124,781,989	122,386,486	2,395,503	
3 管理受託収益	483,274,000	457,462,000	25,812,000	
管理受託収益	483,274,000	457,462,000	25,812,000	
4 利用料収益	345,884,673	336,785,180	9,099,493	
ホール利用料金収益	306,985,753	300,436,980	6,548,773	
駐車場利用料金収益	38,898,920	36,348,200	2,550,720	
5 その他事業収益	9,629,076	10,153,116	△ 524,040	
企画・演出手数料等収益	5,683,252	5,876,196	△ 192,944	
プレイガット事務手数料収益	3,945,824	4,276,920	△ 331,096	
④受取補助金等	676,495,776	622,096,580	54,399,196	
1 受取地方公共団体補助金	676,495,776	622,096,580	54,399,196	
京都市補助金	676,495,776	622,096,580	54,399,196	
⑤受取寄付金	6,560,000	10,000,000	△ 3,440,000	
1 受取寄付金	6,560,000	10,000,000	△ 3,440,000	
寄付金収益	6,560,000	10,000,000	△ 3,440,000	
⑥雑収益	3,034,602	2,567,092	467,510	
1 雑収益	3,034,602	2,567,092	467,510	
受取利息等	1,405	1,985	△ 580	
管理手数料等収益	1,999,699	1,977,728	21,971	
雑収益	1,033,498	587,379	446,119	
経常収益合計	2,039,102,734	1,906,006,314	133,096,420	

平成26年度正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
(2)経常費用				
①事業費	2,019,043,841	1,835,304,446	183,739,395	
役員報酬	4,430,966	1,225,506	3,205,460	
給料手当	936,856,490	867,308,495	69,547,995	
退職給付費用	6,543,529	4,542,476	2,001,053	
臨時雇賃金	26,730,903	20,688,366	6,042,537	
福利厚生費	150,663,603	140,280,872	10,382,731	
会議費	6,432	6,793	△ 361	
旅費交通費	29,474,075	21,328,092	8,145,983	
通信運搬費	15,570,595	14,760,837	809,758	
減価償却費	8,998,717	5,843,078	3,155,639	
消耗什器備品費	3,125,369	4,245,781	△ 1,120,412	
消耗品費	21,621,249	20,347,824	1,273,425	
商品費	1,231,467	1,438,847	△ 207,380	
見本費	3,231	29,503	△ 26,272	
修繕費	21,650,853	22,900,951	△ 1,250,098	
印刷製本費	28,146,353	26,653,278	1,493,075	
広告宣伝費	31,022,702	33,977,269	△ 2,954,567	
燃料費	0	11,310	△ 11,310	
光熱水料費	146,026,441	143,951,407	2,075,034	
賃借料	46,851,820	30,343,246	16,508,574	
保険料	1,850,395	2,135,555	△ 285,160	
諸謝金	1,740,166	2,512,286	△ 772,120	
租税公課	35,291,134	23,088,165	12,202,969	
支払負担金	12,673,938	12,519,280	154,658	
支援事業助成金	9,836,195	697,440	9,138,755	
委託費	471,784,573	427,140,090	44,644,483	
接遇交際費	93,264	36,750	56,514	
支払手数料等	4,328,924	3,338,537	990,387	
雑費	2,490,457	3,952,412	△ 1,461,955	
②管理費	24,445,071	19,544,602	4,900,469	
役員報酬	1,838,016	759,214	1,078,802	
給料手当	12,126,129	8,640,734	3,485,395	
退職給付費用	284,389	164,476	119,913	
臨時雇賃金	696,965	514,979	181,986	
福利厚生費	3,459,997	2,266,637	1,193,360	
会議費	59,958	120,930	△ 60,972	
旅費交通費	328,830	454,075	△ 125,245	
通信運搬費	85,423	160,358	△ 74,935	
減価償却費	689,172	330,032	359,140	
消耗什器備品費	0	249,679	△ 249,679	
消耗品費	550,309	680,031	△ 129,722	

平成26年度正味財産増減計算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
修繕費	0	53,340	△ 53,340	
印刷製本費	95,904	37,012	58,892	
諸謝金	1,814,400	1,764,000	50,400	
租税公課	1,377,606	520,629	856,977	
支払負担金	274,540	292,000	△ 17,460	
委託費	722,542	2,506,921	△ 1,784,379	
接遇交際費	17,720	3,202	14,518	
支払手数料等	23,171	21,353	1,818	
雑費	0	5,000	△ 5,000	
経常費用合計	2,043,488,912	1,854,849,048	188,639,864	
当期経常増減額	△ 4,386,178	51,157,266	△ 55,543,444	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	△ 4,386,178	51,157,266	△ 55,543,444	
法人税，住民税及び事業税	320,000	320,000	0	
当期一般正味財産増減額	△ 4,706,178	50,837,266	△ 55,543,444	
一般正味財産期首残高	758,678,359	707,841,093	50,837,266	
一般正味財産期末残高	753,972,181	758,678,359	△ 4,706,178	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	55,000,000	55,000,000	0	
指定正味財産期末残高	55,000,000	55,000,000	0	
III 正味財産期末残高	808,972,181	813,678,359	△ 4,706,178	

平成26年度正味財産増減計算書 内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケストラによる 文化芸術事業					
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
① 基本財産運用益	1,241,690	0	1,241,690	0	0	0	1,241,690
1 基本財産運用益	1,241,690	0	1,241,690	0	0	0	1,241,690
基本財産受取利息等	1,241,690	0	1,241,690	0	0	0	1,241,690
② 特定資産運用益	1,116,594	22,500	1,139,094	0	0	0	1,139,094
1 特定資産運用益	1,116,594	22,500	1,139,094	0	0	0	1,139,094
特定資産受取利息等	1,116,594	22,500	1,139,094	0	0	0	1,139,094
③ 事業収益	943,490,413	384,404,355	1,327,894,768	143,961,475	24,445,071	△ 145,669,742	1,350,631,572
1 自主・共催事業収益	174,412,676	230,240,800	404,653,476	4,986,502	0	△ 22,578,144	387,061,834
入場料収益	63,152,488	56,566,800	119,719,288	0	0	0	119,719,288
参加料収益	1,833,720	570,000	2,403,720	0	0	0	2,403,720
スペシャルメンバーズ会費	15,694,000	0	15,694,000	0	0	△ 15,694,000	0
友の会会費	1,831,000	49,894,000	51,725,000	0	0	0	51,725,000
京響コース会費	0	2,292,000	2,292,000	0	0	0	2,292,000
広告料収益	11,064,000	3,186,000	14,250,000	0	0	0	14,250,000
共催事業収益	41,805,680	30,482,000	72,287,680	0	0	△ 6,200,000	66,087,680
助成金収益	39,031,788	87,250,000	126,281,788	0	0	0	126,281,788
物品販売等収益	0	0	0	4,506,568	0	△ 684,144	3,822,424
著作隣接権等収益	0	0	0	479,934	0	0	479,934
2 事業受託収益	1,632,960	154,163,555	155,796,515	0	0	△ 31,014,526	124,781,989
事業受託収益	1,632,960	154,163,555	155,796,515	0	0	△ 31,014,526	124,781,989
3 管理受託収益	407,322,157	0	407,322,157	51,506,772	24,445,071	0	483,274,000
管理受託収益	407,322,157	0	407,322,157	51,506,772	24,445,071	0	483,274,000
4 利用料収益	360,122,620	0	360,122,620	75,200,915	0	△ 89,438,862	345,884,673
ホール利用料金収益	360,122,620	0	360,122,620	36,301,995	0	△ 89,438,862	306,985,753
駐車場利用料金収益	0	0	0	38,898,920	0	0	38,898,920
5 その他事業収益	0	0	0	12,267,286	0	△ 2,638,210	9,629,076
企画・演出手数料等収益	0	0	0	5,683,252	0	0	5,683,252
プレイガイド事務手数料収益	0	0	0	6,584,034	0	△ 2,638,210	3,945,824
④ 受取補助金等	0	671,038,233	671,038,233	5,457,543	0	0	676,495,776
1 受取地方公共団体補助金	0	671,038,233	671,038,233	5,457,543	0	0	676,495,776
京都市補助金	0	671,038,233	671,038,233	5,457,543	0	0	676,495,776
⑤ 受取寄付金	5,060,000	1,500,000	6,560,000	0	0	0	6,560,000
1 受取寄付金	5,060,000	1,500,000	6,560,000	0	0	0	6,560,000
寄付金収益	5,060,000	1,500,000	6,560,000	0	0	0	6,560,000
⑥ 雑収益	1,405	0	1,405	3,033,197	0	0	3,034,602
1 雑収益	1,405	0	1,405	3,033,197	0	0	3,034,602
受取利息等	1,405	0	1,405	0	0	0	1,405
管理手数料等収益	0	0	0	1,999,699	0	0	1,999,699
雑収益	0	0	0	1,033,498	0	0	1,033,498
経常収益合計	950,910,102	1,056,965,088	2,007,875,190	152,452,215	24,445,071	△ 145,669,742	2,039,102,734

平成26年度正味財産増減計算書 内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケトラによる 文化芸術事業					
(2)経常費用							
①事業費	964,839,834	1,049,435,200	2,014,275,034	150,438,549	0	△ 145,669,742	2,019,043,841
役員報酬	1,476,988	1,476,989	2,953,977	1,476,989	0		4,430,966
給料手当	269,472,569	607,536,936	877,009,505	59,846,985	0		936,856,490
退職給付費用	4,979,890	591,942	5,571,832	971,697	0		6,543,529
臨時雇賃金	12,540,404	3,372,379	15,912,783	10,818,120	0		26,730,903
福利厚生費	45,356,163	92,981,098	138,337,261	12,326,342	0		150,663,603
会議費	6,432	0	6,432	0	0		6,432
旅費交通費	3,454,391	25,922,098	29,376,489	97,586	0		29,474,075
通信運搬費	4,933,741	10,232,616	15,166,357	404,238	0		15,570,595
減価償却費	2,939,478	4,878,744	7,818,222	1,180,495	0		8,998,717
消耗什器備品費	2,099,479	914,892	3,014,371	110,998	0		3,125,369
消耗品費	11,401,774	7,938,587	19,340,361	2,280,888	0		21,621,249
商品費	0	0	0	1,231,467	0		1,231,467
見本費	0	3,231	3,231	0	0		3,231
修繕費	16,487,118	2,079,424	18,566,542	3,084,311	0		21,650,853
印刷製本費	17,275,319	11,403,190	28,678,509	92,774	0	△ 624,930	28,146,353
広告宣伝費	9,733,680	21,257,647	30,991,327	31,375	0		31,022,702
光熱水料費	123,145,724	5,946,868	129,092,592	16,933,849	0		146,026,441
賃借料	55,184,574	79,678,846	134,863,420	1,484,412	0	△ 89,496,012	46,851,820
保険料	432,797	1,381,720	1,814,517	35,878	0		1,850,395
諸謝金	1,071,045	656,518	1,727,563	12,603	0		1,740,166
租税公課	25,298,407	4,057,978	29,356,385	5,934,749	0		35,291,134
支払負担金	14,440,232	793,600	15,233,832	2,640,106	0	△ 5,200,000	12,673,938
ｽﾊﾟｼﾞｬﾙﾊﾞｽﾞﾁｶｯﾄ購入額	15,694,000	0	15,694,000	0	0	△ 15,694,000	0
支援事業助成金	9,836,195	0	9,836,195	0	0		9,836,195
委託費	315,129,145	162,659,174	477,788,319	28,648,990	0	△ 34,652,736	471,784,573
接遇交際費	0	92,518	92,518	746	0		93,264
支払手数料等	2,269,889	1,979,198	4,249,087	79,837	0		4,328,924
雑費	180,400	1,599,007	1,779,407	713,114	0	△ 2,064	2,490,457
②管理費	0	0	0	0	24,445,071	0	24,445,071
役員報酬	0	0	0	0	1,838,016	0	1,838,016
給料手当	0	0	0	0	12,126,129	0	12,126,129
退職給付費用	0	0	0	0	284,389	0	284,389
臨時雇賃金	0	0	0	0	696,965	0	696,965
福利厚生費	0	0	0	0	3,459,997	0	3,459,997
会議費	0	0	0	0	59,958	0	59,958
旅費交通費	0	0	0	0	328,830	0	328,830
通信運搬費	0	0	0	0	85,423	0	85,423
減価償却費	0	0	0	0	689,172	0	689,172
消耗品費	0	0	0	0	550,309	0	550,309
印刷製本費	0	0	0	0	95,904	0	95,904
諸謝金	0	0	0	0	1,814,400	0	1,814,400

平成26年度正味財産増減計算書 内訳書

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業			収益事業等	法人会計	内部取引消去	合 計
	公 1	公 2	小 計	物品販売等 公益目的外事業			
	文化芸術事業	ホケストラによる 文化芸術事業					
租税公課	0	0	0	0	1,377,606	0	1,377,606
支払負担金	0	0	0	0	274,540	0	274,540
委託費	0	0	0	0	722,542	0	722,542
接遇交際費	0	0	0	0	17,720	0	17,720
支払手数料等	0	0	0	0	23,171	0	23,171
経常費用合計	964,839,834	1,049,435,200	2,014,275,034	150,438,549	24,445,071	△ 145,669,742	2,043,488,912
当期経常増減額	△ 13,929,732	7,529,888	△ 6,399,844	2,013,666	0	0	△ 4,386,178
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	157,418	0	157,418	△ 157,418	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 13,772,314	7,529,888	△ 6,242,426	1,856,248	0	0	△ 4,386,178
法人税、住民税及び事業税	0	0	0	320,000	0	0	320,000
当期一般正味財産増減額	△ 13,772,314	7,529,888	△ 6,242,426	1,536,248	0	0	△ 4,706,178
一般正味財産期首残高			711,290,238	47,388,121	0	0	758,678,359
一般正味財産期末残高			705,047,812	48,924,369	0	0	753,972,181
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額			0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
指定正味財産期末残高			55,000,000	0	0	0	55,000,000
III 正味財産期末残高			760,047,812	48,924,369	0	0	808,972,181

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券…購入時の取得価額による。なお償却原価法については、取得価額と債券金額との差額について重要性に乏しいため、適用していない。
- (2) たな卸資産の評価基準及び評価方法
商品及び貯蔵品…先入先出法による原価法を採用している。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
当財団会計規程第21条に従い、償却費の計算は定率法により行っており、勘定記入の方法は直接法により行っている。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金については、職員の退職金の支払に備えるため、財団の規程に基づき算出した要支給額の全額を引き当てている。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税等の取扱いについては、税込処理方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	83,000,000	0	0	83,000,000
定期預金	20,000,000	0	0	20,000,000
小 計	103,000,000	0	0	103,000,000
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	0	0	158,186,000
管理運営引当資産	369,305,805	0	17,305,805	352,000,000
退職給付引当資産	197,310,549	4,912,918	12,431,598	189,791,869
特定費用準備資金	117,246,910	10,060,000	2,000,000	125,306,910
特定資産取得・改良資金	10,000,000	2,529,888	8,672,400	3,857,488
小 計	852,049,264	17,502,806	40,409,803	829,142,267
合 計	955,049,264	17,502,806	40,409,803	932,142,267

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
京都市債	83,000,000	(55,000,000)	(28,000,000)	-
定期預金	20,000,000	(0)	(20,000,000)	-
小 計	103,000,000	(55,000,000)	(48,000,000)	(0)
特定資産				
記念事業引当資産	158,186,000	(0)	(158,186,000)	-
管理運営引当資産	352,000,000	(0)	(352,000,000)	-
退職給付引当資産	189,791,869	(0)	(0)	(189,791,869)
特定費用準備資金	125,306,910	(0)	(125,306,910)	-
特定資産取得・改良資金	3,857,488	(0)	(3,857,488)	-
小 計	829,142,267	(0)	(639,350,398)	(189,791,869)
合 計	932,142,267	(55,000,000)	(687,350,398)	(189,791,869)

4. 固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	95,434,288	81,873,427	13,560,861

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価並びに評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時 価	評価損益	
京都市債10年(平成20年度第5回)	83,000,000	87,340,900	4,340,900	基本財産投資有価証券
京都市債5年(平成23年度第3回)	100,000,000	100,370,000	370,000	管理運営引当資産
京都市債5年(平成24年度第6回)	50,000,000	50,000,000	0	管理運営引当資産
京都市浪漫債5年(第14回)	50,000,000	49,655,000	△ 345,000	管理運営引当資産
短期国庫証券(第514回)	49,999,250	49,995,000	△ 4,250	管理運営引当資産
京都市債5年(平成23年度第3回)	30,000,000	30,111,000	111,000	退職給付引当資産
京都府京都みらい債5年(平成22年度第8回)	20,000,000	19,992,000	△ 8,000	退職給付引当資産
京都府京都安心づくりみらい債5年(平成23年度第8回)	10,000,000	9,984,000	△ 16,000	退職給付引当資産
短期国庫証券(第514回)	49,999,250	49,995,000	△ 4,250	特定費用準備資金
合 計	442,998,500	447,442,900	4,444,400	

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金の名称及び交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
補助金				
財団運営事業補助金 交付者 京都市	0	676,495,776	676,495,776	0
受取補助金計	0	676,495,776	676,495,776	0
助成金				
芸術創造活動重点支援事業 交付者 独立行政法人 日本芸術文化振興会	0	86,400,000	86,400,000	0
劇場・音楽堂等活性化事業 交付者 文化庁	0	38,931,788	38,931,788	0
公演助成 交付者 公益財団法人 アフィニス文化財団	0	500,000	500,000	0
音楽公演助成 交付者 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション	0	300,000	300,000	0
公演助成 交付者 公益財団法人 朝日新聞文化財団	0	100,000	100,000	0
広告助成 交付者 公益社団法人 日本オーケストラ連盟	0	50,000	50,000	0
受取助成金計	0	126,281,788	126,281,788	0
合 計	0	802,777,564	802,777,564	0

財 産 目 録

平成 27 年 3 月 31 日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
(流動資産)	現金	手許保管	運転資金として	4,071,578	
	普通預金	総務課，業務管理課，事業企画課			
		京都銀行下鴨支店	〃	36,899,333	
		三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	4,258,398	
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	30,996	
		三井住友銀行京都支店	〃	12,987	
		三井住友信託銀行京都支店	〃	13,630	
		滋賀銀行北大路支店	〃	14,921	
		ゆうちょ銀行京都北山郵便局	〃	3,062,947	
		京都市交響楽団			
		京都銀行下鴨支店	〃	50,871,530	
		三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	42,098,245	
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	698,601	
		京都信用金庫北山支店	〃	745,098	
		三井住友銀行京都支店	〃	3,432,686	
		りそな銀行京都支店	〃	59,368	
		ロームシアター京都			
		京都銀行市役所前支店	〃	44,051,523	
		京都市東部文化会館			
		京都銀行山科中央支店	〃	9,964,149	
		京都市呉竹文化センター			
		京都銀行伏見支店	〃	14,372,238	
		京都市西文化会館ウエスティ			
		京都銀行上桂支店	〃	7,467,989	
		京都市北文化会館			
		京都銀行鞍馬口支店	〃	9,424,120	
		京都中央信用金庫北烏丸支店	〃	13,320	
		京都市右京ふれあい文化会館			
		京都銀行太秦安井支店	〃	7,079,230	
		郵便振替	業務管理課	〃	1,589,236
			京都市交響楽団	〃	4,664,713
			京都市東部文化会館	〃	123,560
			京都市呉竹文化センター	〃	1,031
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	20,944		
	京都市北文化会館	〃	1,151,430		
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	283,980		
未収金	総務課		31,080,058		
	業務管理課，事業企画課	ホール利用料金等	53,623,252		
	京都市交響楽団	公演料，助成金等	41,592,128		
	ロームシアター京都	〃	2,203,200		
	京都市東部文化会館	ホール利用料金等	2,870		
	京都市呉竹文化センター	〃	181,381		
	京都市西文化会館ウエスティ	〃	15,630		
	京都市北文化会館	〃	200,830		
	京都市右京ふれあい文化会館	〃	1,134,625		

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
	貯蔵品	業務管理課	販売用商品	499,716	
		京都市交響楽団	〃	1,594,544	
		京都市東部文化会館	照明用ホリカー	618,618	
		京都市呉竹文化センター	〃	444,006	
		京都市西文化会館ウエステイ	〃	1,309,081	
		京都市北文化会館	〃	505,810	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	470,605	
	前払金	総務課	労働保険料	346	
		京都市交響楽団	〃	5,190	
流動資産合計				381,959,671	
(固定資産)					
基本財産	投資有価証券	京都市債平成20年度第5回(10年)	運用益を公益目的事業の財源と	83,000,000	
		定期預金	している	10,000,000	
特定資産	記念事業引当資産	三菱東京UFJ銀行京都支店	〃	10,000,000	
		定期預金 京都信用金庫北山支店	〃	10,000,000	
		定期預金 りそな銀行京都支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	86,186,000	
			〃	〃	52,000,000
	管理運営引当資産	京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	100,000,000	
		第14回京都浪漫債(5年)	〃	50,000,000	
		京都市債平成24年度第6回(5年)	〃	50,000,000	
		国庫短期証券第514回	〃	49,999,250	
		定期預金 京都中央信用金庫北鳥丸支店	〃	10,000,000	
		定期預金 滋賀銀行北大路支店	〃	10,000,000	
		定期預金 三井住友信託銀行京都支店	〃	10,000,000	
		定期預金 三井住友銀行京都支店	〃	10,000,000	
		普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	62,000,750	
退職給付引当資産		国庫短期証券第514回	退職給付引当金に充てる	49,999,250	
	京都市債平成23年度第3回(5年)	〃	30,000,000		
	京都府債第8回京都みらい債(5年)	〃	20,000,000		
	京都府債平成23年度京都安心づくりみらい債(5年)	〃	10,000,000		
	定期預金 みずほ信託銀行京都支店	〃	10,000,000		
	普通預金 京都銀行下鴨支店	〃	69,792,619		
特定費用準備資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	海外オーケストラの招聘公演等	80,960,507		
	〃	記念公演等	36,346,403		
	〃	〃	8,000,000		
その他固定資産	特定資産取得・改良資金	普通預金 京都銀行下鴨支店	什器備品購入	3,857,488	
		〃	〃	469,876	
	什器備品	総務課	什器備品	469,876	
		業務管理課, 事業企画課	〃	2,033,543	
		京都市交響楽団	〃	10,944,812	
		京都市東部文化会館	〃	25,259	
		京都市呉竹文化センター	〃	19,551	
		京都市西文化会館ウエステイ	〃	25,523	
		京都市北文化会館	〃	22,746	
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	19,551	
		電話加入権	業務管理課, 事業企画課	電話加入権	314,370
		固定資産合計			946,017,498
		資産合計			1,327,977,169

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金	総務課	人件費等	70,493,558
		業務管理課, 事業企画課	公演経費, ホール運営経費等	22,474,531
		ロームシアター京都	〃	10,723,494
		京都市交響楽団	人件費, 公演経費等	40,099,169
		京都市東部文化会館	ホール運営経費等	1,051,655
		京都市呉竹文化センター	〃	743,932
		京都市西文化会館ウエスティ	〃	1,708,853
		京都市北文化会館	〃	1,882,969
		京都市右京ふれあい文化会館	〃	973,247
		未払法人税等 前受金	総務課	法人税等
	業務管理課, 事業企画課		ホール利用料金等	27,369,915
	京都市交響楽団		友の会会費等	56,418,450
	ロームシアター京都		ホール利用料金等	36,916,836
	京都市東部文化会館		〃	2,482,020
	京都市呉竹文化センター		〃	6,269,710
	京都市西文化会館ウエスティ		〃	3,535,780
	京都市北文化会館		〃	5,367,430
	京都市右京ふれあい文化会館		〃	4,196,030
	預り金		総務課	社会保険料等
		業務管理課, 事業企画課	チケット購入代金等	18,806,614
京都市交響楽団		〃	4,284,661	
ロームシアター京都		公演料, 助成金等	2,207,284	
京都市東部文化会館		舞台設備料等	1,701,540	
京都市呉竹文化センター		〃	1,236,842	
京都市西文化会館ウエスティ		〃	568,449	
京都市北文化会館		〃	149,040	
京都市右京ふれあい文化会館		〃	1,835,773	
仮受金		業務管理課, 事業企画課	誤入金	360
流動負債合計				329,213,119
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員退職給付引当金	189,791,869
固定負債合計				189,791,869
負債合計				519,004,988
正味財産				808,972,181